



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshitaka Hukuhara 〒659-0023 14-20-714 Kusunoki-cho Ashiya
 Hyogo.JAPAN
 Mail : y-fukuhara@ae.auone-net.jp Tel 0797-38-8332

主 題

国際協会会長 IP Isaac Palathinkal
 言葉より行動を Theme: Talk Less, Do More
 アジア地域会長 岡野泰和
 未来を始めよう、今すぐに Start Future Now
 西日本区理事 松本武彦
 響きあい、ともに歩む
 To walk together, echoing each other
 六甲部部長 多胡葉子
 あなたとわたしの Y's ダムを YMCA とともに-コース、交流、地域-
 Y's dom is yours and ours. Let's share it with YMCA
 Youth, Friendship and Community-
 芦屋クラブ会長 福原吉孝
 ハツラツと爽やかなワイズの活動を地域社会に広げよう
 Let our actions Shine in the Community!

会 長 福原吉孝
 直前会長 羽太英樹
 副 会 長 五十嵐政二・堤 清
 書 記 柏原佳子・羽太英樹
 会 計 桑野友子
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六 甲 部 羽太英樹 (広報主査)
 上野恭男 (六甲部監事)

2

Feb, 2015
 213号

2月はTOF・CS・FFの強調月間です

地域奉仕・環境事業委員 上野恭男

2月 は断食月として例会での会食を始末して、献金を捧げます。ワイズメンズクラブの大きな特徴の一つです。

各種献金が2月に集中しますが、趣旨を理解され協力をよろしくお願いいたします。

CS 献金は 1,500 円/1人 が今期の目標金額です。年賀はがき当選切手シートをベースにアジア地域への援助を目的にしています。

TOF 献金の目標は 1,400 円/1人で国際に送金して、食べることが出来ない人に対し援助を行っています。

FF 献金の目標は 800 円/1人です。家庭での断食として国際に捧げられます。

芦屋クラブは地域奉仕事業として、みどり福祉作業所を支援しています。チャリティランへ入所者が出場していますが、送迎にも協力してきました。また、直近では入所者の進学希望者への教育にも係わって参りました。

4月になると、さくら祭りの準備もしなければなりません。

YMCAのコースの支援を得て、楽しく地域奉仕をしましょう。

今月の聖句

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。
 < マタイ福音書 7:13 ~ 14 >

2月第1例会

と き: 2015年2月18日(水) 20:00~21:00

と ころ: ブルーミン・メド

司 会: 島田 恒ワイズ

受 付: 桑野友子ワイズ

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 開会点鐘 | 福原吉孝会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 島田 恒ワイズ |
| 5. 次期役員、委員の決定 | 五十嵐政二副会長 |
| 6. 第2例会議事録の承認 | 福原吉孝会長 |
| 7. 事業委員報告・その他 | 各委員 & メンバー |
| 8. YMCAニュース | 藤田良祐連絡主事 |
| 9. ニコニコ献金報告 | 島田恒ワイズ |
| 10. 誕生祝い | 福原吉孝会長 |
| 坂東幸子ワイズ 堤 | 和子メネット |
| 11. 閉会点鐘 | 福原吉孝会長 |

1月例会出席表

第1例会出席	例会出席率	BF切手 420g
メンバー 14名	出席者 14名	累計 420g
ビジター 0名	メイクアップ 0名	
ゲスト 0名	合計 14名	
メネット 3名	在籍者 18名	ニコニコ 17,272 円
コメント 0名	(広義会員 1名)	累計 102,386 円
合計 17名	出席率 82.35%	

1月第1例会報告

日時: 1月21日(水) 19:00 ~ 21:00

場所: ホテル竹園芦屋3 F

出席者: 五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、都筑省三、堤清、羽太英樹、福原吉孝、坂東幸子、篠坂幸彦、渡邊倫子各ワイズ、五十嵐かほる、羽太光子、福原美鈴、各メネット、藤田良祐連絡主事

あけましておめでとうの第一声、開会点鐘と共に 2015 年第一回の例会が始まった。

今月も羽太メンによる聖句の紹介、感話に続いて都筑メンによる食前感謝、なごやかな時が流れた。



今回のスピーチは藤川メンによる医療講座「老いを豊かに」であった。私たちの最も身近な問題を豊富なデータと経験に裏打ちされた「話題を豊かに」話された。

国による自殺率の差など死生観の違いは、やはり宗教が影響しているのだろうか。あるいは社会福祉政策の差によるのだろうか。そして最も心に残ったのは自分の終末期のあり方は健康な時にこそ考えておかなければならないということでした。

ありがとうございました。その後は例会の議事を滞りなく済ませお開きとなった。

五十嵐政二

ともにいたみ、希望に生きる

今期の新春YYフォーラムは、阪神淡路大震災20周年という、神戸にとって節目の年という事で震災記念日の1月17日に、神戸栄光教会を会場に六甲部各クラブのワイズとユースに関わる神戸YMCAに連なる人たち総勢約100名が参集した。あの20年前に震災を経験し、復興活動に参加した者たち、今もなお東日本大震災やこのところ頻発する災害の復興にボランティアとして支援をされている者たち、何かしたいけれど何をしたらいいんだろう・・・と悩んでいる者たちが一堂に会し、これからの未来に向けてを考えるフォーラムであった。

震災で完全に倒壊した明治のレンガ造りの会堂は20年経った今、立派に再建され昔の姿で神戸の街に復活した。この礼拝堂で「1.17を思い起こし、慰めの言葉を分かちあおう」と題して開会礼拝が行われました。初めにみんなで声を合わせて「だから今日希望がある。だから恐れずに生きる。未来を信じて・・・」と讃美し、20年前の震災直後の神戸の様子とYMCAボランティアによる復興活動のビデオ

「その時から新しい生き方がはじまった」を見た。改めてあの時の災害のすさまじさを思い浮かべ涙した方々もあつたろう。続いて聖書朗読とユース委員で神戸栄光教会の若き伝道者汐碇直美師による奨励があり、「新しい生き方」について思いをよせる礼拝を終えた。礼拝後には別室にて阪神淡路大震災当時の神戸YMCAの支援活動の講話を、またユース・リーダーたちの災害支援への思いと問いかけを聞き、グループ毎に話し合った。

羽太英樹

YYフォーラムのグループ討議

阪神淡路大震災震災フォーラムに参加して阪神淡路大震災の20周年としてYYフォーラムにて震災を知らない若いYMCAリーダ等と話し合いの中、全壊となり下敷きになり救済された事等、震災を経験したワイズメンから生々しい体験が公開され、びっくりした様子だった。貴重な体験をそれぞれが語り部として引き継ぐ必要性を強く感じた次第・・・

福原 吉孝

すぐ近くの兵庫県公館で天皇皇后両陛下ご参列の追悼式典が行われ、その交通規制を避け篠坂ワイズ・柏原ワイメンと私の3名は2時間近くも前に会場に到着しました。20年前、直接・間接に何回も見、体験もした震災の被害を、栄光教会の会堂で再度見て当時の大災害とこの20年の復興に改めて思いを寄せました。私のグループはワイズ3名と男女リーダー各1名の5名、直接体験したワイズは勿論、当時をTVや本で見聞きした若者も、とりわけ東日本大震災の後は、「やはり人と人の絆」との思いを強くしました。

桑野 友子

朝から2号線は震災ウォークで神戸まで人の列。20年前の今日を・・・兵庫公館に両陛下をお迎えして式典が。隣接する神戸栄光教会(母校の関西学院と同じくW.R.ランバス師により1886年創設された)でのYYフォーラム、礼拝後YMCA・女子リーダー達による復興支援に関する熱心な研究発表、続いてワイズ全員を含めてのグループディスカッション「我々に何が出来るか?」のテーマで・・・大変有意義な1日だった。

篠坂 幸彦

「わかちあいの時」 わたしのグループではあの神戸・淡路の震災を知っているのは、ワイズの私とYMCA幼稚園の教諭のふたりだけで、あとはリーダー会の青年ばかり・・・経験者は当時の事を語り、青年たちは東日本大震災で心に傷ついた福島子どもたちを余島キャンプに招いたボランティアの思いを分かち合った。最後に画用紙に纏めたグループの思い



は・・・「未来に向けて、備えていますか？ ～心・身体・物
～ 聞こえてきます天の声『行って友となりなさい』と・・・」

羽太英樹

2人の20歳の若い女性(YMCAリーダー)が加わり和やかな雰囲気！それぞれの体験談の中で私は「須磨の実家の無事を確認しUターンした長田の街は、もはや猛火と黒煙に包まれ、消化のホースからは海水が噴出しその上を目を閉じて脱出し、丁度「風と共に去りぬ」のレッドパトラーとスカレットのあの画面のようにネ！」・・・と話し始め、ああ、若い人はあの名作を知らないのだと気づき、寂しかったですね。

柏原佳子

所用があり遅れての参加でしたが、グループ討議に間に合いました。

もし、再度大きな災害があったらどうするか？阪神淡路大震災から20年が経ち、目の前のユースは赤ちゃんだった時の実感はないので、もっぱら、こちらからの発言になりました。結論はやはり「絆」となりました。でも、若者との交流は楽しいものでした。

上野恭男

神戸YMCA支援チャリティーイベント 「すべてのいのちが光輝くように」に参加して

田口 壮さんのお話が聞けるとのことで、出かけましたところ、受付をすることになりました。会場はカトリック神戸中央教会初めて中に入りました。

会堂は震災後建てられたとのことで、会堂の周りの壁は幾つものステンドグラスが天上まではめられ、イエス様の生涯を表しており、太陽の移動に伴い壁に美しいステンドグラスの色合いが映し出され、感動致しました。受付は1時半からでしたが冷暖房の設備のない会場で、扉を開けて来会者をお待ちし受付に居りましたもの皆、寒い思いをいたしました。初めのスーパーキッズ・オーケストラの演奏は小学生から高校生までの子どもたちが素晴らしい演奏を聞かせてくれました。さすがスーパー!! 最後に東日本の応援歌「花は咲く」の演奏と共に会場一体となり、「花は咲く」を歌いました。隣に座られた若い男性の声に聞きほれてしまいました。

基調講演 田口 壮さんの「野球と余談とベースボール」関西人らしく楽しくユーモアを交えてプロ野球の事、大リーグでの体験談、日々の生活の中での実体験を通して、感じる事を謙虚に話して下さいました。特に心に残ったことは、アメリカに行く前に奥様と約束なさった「こんなはずじゃなかった」は決して口にしないとお話には、会衆一同自分の生活にあてはめ頷けたのではないのでしょうか。

休憩をはさんでトークセッションが持たれました。水野神戸YMCA総主事のリードでYMCA活動を夫々の経験を通して話して下さいました。特に小学生の小さな子どもたちが親元を離れ、無人島でのキャンプに参加していることに大変驚きました。きっと素晴らしい経験をされたことと思います。

今回全体素晴らしいイベントだったと思えました。ただ残念だったことはせっかくの講演がよく聞こえなかったことです。

この会を企画し開催して下さいました皆様に、心よりお礼申し上げます。

羽太光子メネット

円形で天井の高いドーム型で、側面は縦に10数本施されたステンドグラスの明かり取りから神秘的な光を放つ神戸中央教会。私達は受付を担当。YMCA関係者のみならず一般の方々も多く来場。可愛いスーパーキッズ・オーケストラによる明るく楽しい演奏。来場者全員で「花は咲く」を大合唱。元大リーガー 田口 壮氏によるユーモア溢れる野球の体験談。二本の指にはめられたワールドチャンピオン・リングが後方の席までキラキラと・・・

篠坂幸彦

スーパーキッズ・オーケストラの素晴らしい演奏の後、野球人として活躍した田口壮氏のアメリカでの苦労話が大変興味深かった。マイナーリーグから這い上がった話が、実に面白く監督に直談判、オーナーやその奥様の前で日本語の「長い夜」を歌って認められた事、ここからアメリカでは自己のプレゼンテーションが大事であり、謙虚でおとなしく優しい日本人と国民性の違いなど面白く拝聴した。大リーガーでワールドシリーズで2回も優勝経験のある素晴らしいアスリートであり、スポーツマンらしいさわやかで明るい人柄を強く感じた。

福原吉孝



六甲部主催のYMCA支援コンサートは早くから実行委員会が準備されただけあって、多胡部長の熱意が感じられる素晴らしい企画でした。芦屋クラブは受け付け担当。当日だけの応援でしたが、指示どおりに持ち場に立ち、カソリック教会の幅広い扉が開く瞬間をワクワクしながら準備万端、冷たい風と共に明るい光が眩しく差し込んできました。初めは少しずつ、予想通り一挙に多くの方が入って来られ、羽太光子メネットと2人チームでテキパキとこなし、参加することの喜びを分けていただきました。

柏原佳子

当日は随分と寒く、受付をしている間も足元からジンジンと冷たさが伝わってきました。満席に近い参加者、スーパーキッズ・オーケストラの演奏は若さにあふれて元気潑刺、合間のお話も礼儀正しく可愛く、最後列の席からの鑑賞でしたが、素晴らしいものでした。オリックス時代の田口壮氏はあまり印象にはないけれど、宇宙飛行士の若狭氏へのインタビュー番組をNHKで見えて関心を持っていました。米メジャーリーグ時代の日本人とアメリカ人との野球に対する対応の違いなどユーモア溢れる語り口は観衆の笑いを誘いました。

桑野友子

田口壮講演はなかなかでした。前向きに歩んできた、また歩もうとしている魅力があふれていました。話術も磨かれていました。マイナーに落とされても諦めない、そこから頑張った人生経験があり、日本野球界やファンにリーダーとしてよい影響力を発揮していられると思います。

島田 恒

1月第2例会議事録(抄)

とき: 1月28日(水)18:15~20:00

ところ: 芦屋市民センター 204号室

<出席者> 福原吉孝、五十嵐政二・かほる、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、島田 恒、

篠坂幸彦、藤田良祐、羽太英樹 (10名) 敬称略

<議案>

1) 今後の例会予定

* 2月第1例会は2月18日(水)ブルーミン・メドでの「留学生交流会」に引き続いて20:00~21:00 行う。事務例会とし、次期役員、メンバーの役割分担について話し合う。

* 2月第2例会は2月25日(水) 於: 芦屋市民センター

* 3月第1例会は3月18日(水)於: H・竹園。スピーカーは上野メンに依頼。上野メンと武田建氏を考慮。

2) 留学生交流会2月18日(水)

於: ブルーミン・メド 18:00 20:00

* メンバーは16:30 集合し、準備にあたる。例年通り各人持ち寄りのポトラックとする。

* 飲物として箱入りワイン、缶ビール(1ケース)、ソフトドリンクを購入する。

* ギターによる歌の指導を例年通り大野メンに依頼する。

* 総合司会は島田メン、名札作成は羽太メンが担当する。

* 現在、留学生33名、コースの中高生7名が参加予定。

* 改めてメールでメンバーに周知する。

* 留学生等を送った後、引き続いて2月第1例会を行う。

3) 今後のワイズ・六甲部関連の集まり

* EMC主査懇談会 1月29日(木) 柏原・桑野(島田委員代理)メンが出席する。

* さんだクラブ バレンタインコンサート 2月7日(土)

* 故今井鎮雄名誉顧問を偲ぶ会 2月8日(日)15時~
於: ポートピアホテル

* 神戸クラブメネット会 50周年記念会 3月14日(土)

* 六甲部第2回評議会 3月21日(土) 詳細は未入手。

* 希少難病患者支援チャリティーコンサート 4月4日(土)
於: 神戸栄光教会

* 西日本区大会 6月13日~14日 於: ハイアットリージェンシー大阪

* アジア地域大会 7月31日~8月2日 於: ウェスティン都ホテル京都

会計報告12月度の会計とクリスマス祝会の収支明細が桑野会計より報告され内容が了承された。BF などファンド献金は9,000円余りになるが、献金は自主性を旨とすることを確認。

島田恒メンによる個人出版記念会にクラブとして協力する。使用済み切手は、現在420gの在庫がある。今後機会あるごとにメンバーに周知することとする。

* 神戸YMCAより短期留学生のホームビジットの依頼があり、五十嵐メン夫妻が2月6日に受託。 以上。

島田 恒ワイズが新著を出版されます

題名 「働き盛り」のNPO

ドロッカーに学ぶ「真の豊かさ」

出版日 2月6日

出版社 東洋経済新報社



YMCA ニュース

1. 阪神淡路大震災 20年を迎えて

阪神淡路大震災から20年目となる1月17日(土)に、神戸栄光教会で「2014 震災 YY フォーラム」を開催し、約100名のワイズメン、リーダー、職員が集まりました。20年前の震災をふり返りつつ、東日本大震災での活動を考える良い機会となりました。

2. 中日本 YMCA スタッフ研修開催

1月19日(月)~20日(火)の一泊二日、六甲山YMCAで中日本地区YMCAのスタッフ研修会が開催されました。

3. 今後の予定

神戸YMCA サポートプログラム 20周年記念シンポジウム

日時: 2月22日(日)午後1:00~4:30

場所: 神戸市教育会館大ホール

参加費: 2,000円

プログラム: 基調講演「ライフステージに合わせた支援とは」

講師: 金 泰子氏(大阪医科大学)

パネルディスカッション

司会: 竹田契一氏(大阪教育大学名誉教授)

連絡主事 藤田良祐

編集後記

身近な若者が、サッカー少年だった頃から憧れたスペインに1人で旅をする。近々大学の奨学金留学する準備のためだそうです。若者の冒険心と好奇心は夢を叶えるとか。昨今のニュースはあまりにも痛ましく耐えがたく悲しい2人の犠牲者を悼みます。国や宗教の問題に口は挟めませんが、家族は、知人は胸から血が噴き出す想いでしょう。世界の平和を祈らずにはいられません。 柏原佳子